

図書担当より 2月

生野高等学校図書室
令和8年2月12日発行

2月になりました。

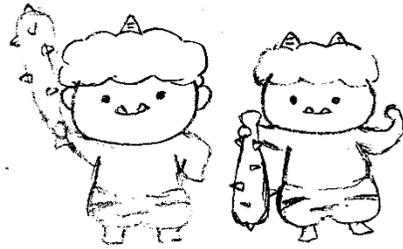
2月といえば、節分などの行事がありますね。

節分といえば、豆まきや東巻があります。

節分には、「季節の変わり目に悪いものを追い払って、良い運を呼びよせよ」という意味があるそうです。

豆を使う理由は、

「魔を滅する」=魔滅(めめ)に通じる語呂合せに由来です。他にも意味があるのかもしれないので調べてください。



この季節にピッタリの短編集*

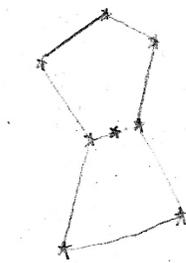
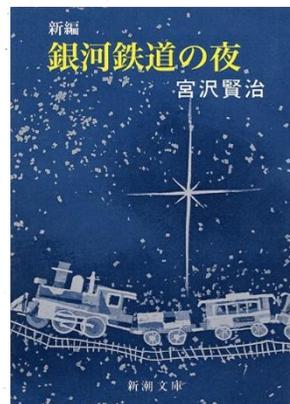
銀河鉄道の夜 収録よだかの星

「あらすじ」

よだかという鳥は、実に醜い鳥でした。まだら模様の顔に耳まで裂けた大きく平たいくちばし。そんなよだかは他の鳥たちに嫌われ、孤独な日々を過ごします。

そして次第に自分が生きるためにまたりの命を奪うことに罪悪感を覚えるようになります。

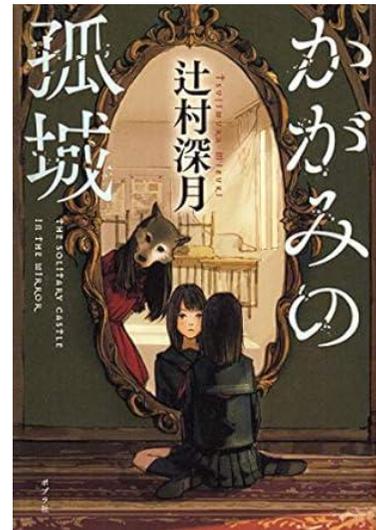
苦しみの中で、最後まで生に抗う心優しい鳥のお話です。この本を読んだ後、あなたはきっと2月の星空を仰ぐことでしょう。



実際のよだか (オオダイモリ)



冬に読みたいおすすめの本 『かがみの孤城』



あらすじ... 辻村深月
学校で居場所をなくした「こころ」は、ある日、鏡の中の不思議な城へ招かれ、同じ悩みを持つ仲間と出会い、少しずつ自信と向き合っていく物語です。
読んだあと、心があたたかくなる一冊です。

新しく入った本

リクエスト

「ストロベリー・レーン」

なんでも

「余命10年」

暮集やです!

「食堂かたまり」

など...!!

図書担当より

今回は2年生図書委員が原稿を書いてくれました。意識してスマホを置いて、本を手にとってみましょう。一文一文読んでいく行為は、皆さんの読解力や想像力を確実に高めてくれます。読みやすい本、興味が向いた本から始めてみよう!

図書室では今、「号泣する小説」を集めたコーナーがあります。泣くことは実はストレス解消にもつながるし、読み終わってからはなんだかすっきりして「前向きにがんばろう」と背中を押してくれることがよくあります。試しに1冊、読んでみませんか?

